

おほとものやかもち あき うた  
大伴家持の秋の歌四首

一五六六番

ひさかたの あま雨間も置かず お雲隠り くもがく  
なる わさだかり早稲田雁がね な鳴きそ行く ゆ

一五六七番

くもがく雲隠り な鳴くなる雁の かり  
しげ繁くし思ほゆ おも ゆ行きて居む あきた秋田の穂立 ほたち

一五六八番

あまごも雨隠り こころ心いぶせみ い出で見れば かすが春日の山は やま  
いろづ色付きにけり かすが春日の山は

一五六九番

あめ雨はれて きよ清く照りたる つくよこの月夜 さらまた更にし  
て くも雲なたなびき